



JET 参加者を日本企業に！

(一財)自治体国際化協会 JET プログラム事業部

クレアでは、国際感覚を身につけた人材である JET プログラム参加者（以下、JET 参加者という）の就職支援事業を行ってきました。このたび、JET 参加者に日本で働くことに対する理解や魅力を感じてもらおうと同時に、グローバル人材を求める企業に対し、JET 参加者が日本人スタッフとの高いコミュニケーション能力を有する優秀な人材であることを知っていただくため、「JET キャリアアップインターンシップ研修プログラム」を 8 月と 9 月の 2 回に分けて実施しました。

クレアによる JET プログラム終了後のキャリア支援の取り組み

(1) キャリアフェア

グローバル人材を求める企業・団体と、国際感覚を身につけた人材である JET プログラム終了予定者・経験者の双方のニーズを踏まえ、国内において互いの出会いの場を提供する事業として「JET プログラムキャリアフェア」を実施しています。

2014 年に首都圏で初めて開催し、2017 年は大阪（1 月）・横浜（2 月）での開催を予定しています。

(2) インターンシップ

JET 参加者の国内での活躍促進のため、JET 参加者と企業とのミスマッチの軽減を図ることを目的に、現役 JET 参加者を対象に 2016 年 2 月にインターンシッププログラムを実施しました。

開催期間：2016 年 2 月 29 日（月）～3 月 2 日（水）
受入企業数：5 社（保険会社、旅行会社、銀行、金属・鉄鋼メーカー、出版会社）

参加者数：7 人

2016 年度
インターンシップ事業の概要

2016 年 2 月から 3 月に開催したインターンシッププログラムが JET 参加者および受入企業双方にとって好評であり、また今後の JET 参加者のキャリアアップ

に有効であるため、2016 年度は規模を拡大して実施しました。

(1) 実施内容

- ①日程 8 月開催：2016 年 8 月 1 日（月）～5 日（金）
9 月開催：2016 年 9 月 5 日（月）～9 日（金）
- ②応募対象者：2016 年 8 月時点で任期 3 年目以降の現役 JET 参加者
- ③主な参加要件：日本語能力試験 N2 以上を有すること。
任用団体からインターンシップの参加について了承を得ていること。
- ④参加者数および受入企業数
 - ・参加者数 8 月：13 人 9 月：17 人 計 30 人
 - ・受入企業数 8 月：9 社 9 月：12 社 計 17 社
(うち 4 社は両月とも受入)

(2) 参加者の選考

参加者の選考は、書類および面接によって行いました。日本での就職活動を前提にしたので、書類選考では日本語の表記に間違いはないか、志望動機は読み手に伝わるよう記載されているかに重点を置きました。面接はインターネット通信にて行い、実際に日本の職場において通用する日本語力を有しているか、志望動機など、適切な応答ができているかに重点を置きました。また、インターネットでの面接ではありますが、きちんとした服装で臨んでいるかも選考の対象としました。

(3) 企業への事前訪問

受入企業に対しては、インターンシップ実施前に各企業を訪問して、JET プログラムや JET 参加者が通常どのような業務を行っているのかなどを説明し、受け入れに対する企業の不安の軽減を図りました。また、受入企業や JET 参加者の責任、研修内容、参加経費、事故への対応について、覚書を交わしました。

(4) 実施期間中のフォロー体制

インターンシップ期間中は、受入企業を訪問し、企業の担当者に受入状況や研修内容を聞くとともに、JET 参加者にも感想を聞き、双方に不安や問題などがないか確認するなど、フォローに努めました。

インターンシップ事業の評価

当事業終了後、参加者および受入企業双方から総合評価とアンケートを提出していただきました。主な内容は以下のとおりです。

○参加者

- ・ビジネスマナーや印象の良い言葉づかいなどについて大変勉強になりました。
- ・日本で就職したいと考えている方々にとっていい機会だと思います。
- ・貴重な経験ができました。実際に日本の企業に勤めないと分からないことが多くありました。
- ・日常生活と違う職場環境を自分で経験することが出来て満足しています。

○受入企業

- ・外国人採用の基準作成の参考となりました。
- ・大変優秀な研修生であり、応対したスタッフも良い影響を受けました。
- ・既に敬語の使い方、オフィスでの服装、ビジネスマナー等を知っており、自発的に質問するなど、頑張ろうとの姿勢が見受けられました。
- ・当社はグローバル化が急がれており、外国人とのコミュニケーションを円滑にすることは喫緊の課題で、その一助となると思います。
- ・会社の経済的負担がなかったため、インターンシップの提案が比較的受け入れ易かったです。
- ・留学生とは異質の母集団であり、外国人採用の新しい視点として社会的インパクトがありました。

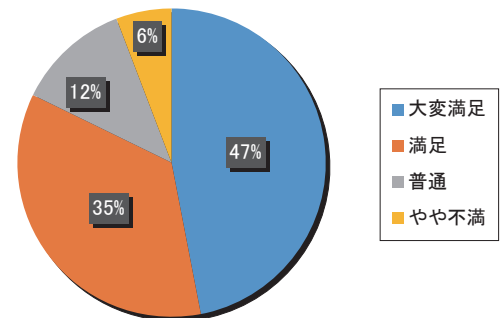
今後について

クリアとして、JET プログラム終了後、日本での就職を検討している JET 参加者への情報提供やキャリアアップに関する支援を、今後も重点的に行いたいと考えています。

JET 参加者は、今後の日本の国際化において、大変重要かつ優秀な人材であると確信していますが、彼らの中には、日本での就職を考えているが、どのように情報を得たらよいか、どのように行動したらよいか分からないまま、帰国してしまう参加者もいると思います。

JET 参加者のような貴重な人材に日本の企業で活躍してもらうためにも、インターンシップ事業やキャリアフェアを含めた総合的な就職支援活動を実施していきたいと考えています。

インターンシップ事業の満足度(企業)



インターンシップ事業の満足度(JET参加者)

